

# 令和6年度事業報告（2024年度）

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

## [教育理念]

学生一人ひとりを大切に、愛情を持ってきめ細やかな指導で専門知識、技能の習得及び人間性豊かな人材を育成する。

## [基本方針]

- 1) 社会の公器として国の発展に貢献する人材育成を目指す。
- 2) 健全な資産のもと堅実で安定的な学園経営を目指す。
- 3) 時代の変化を読み、時代のニーズに対応した教育を行う。

## [令和6年度基本計画と具体的内容]

### 1. 教務部

#### 1) 基本計画

ファッション分野への希望者減少の中、希望者の興味に沿ったカリキュラムへの移行準備段階とし、入学者の確保と並び、在校生の退学率減少を丁寧に進める。

#### 2) 具体的内容

##### (1) 学生満足度の向上、退学防止策

###### <行事の充実>

\*学科、学年間の交流を目指し、イベントを計画し実施。

5月16日、17日校外オリエンテーション：富士急ハイランド方面（合同）

9月12日ボーリング大会（デジタル）等実施

###### <学生面談の実施、キャリアサポート>

\*前期、後期開始時、就職関連など、必要に応じて学生の状況を把握する面談を実施。

\*就職活動の動機付けやサポートを、キャリアサポートセンター中心に充実させ、就職希望者就職率を上げるために、全教員が就職先を探し、就職に結びつけた。

##### (2) 教育内容および、カリキュラムの充実

\*「衣装製作」を選択科目に導入したことにより、入学希望者が増加している。「アイドルプロデュース衣装製作」内で衣装を製作し、SDGsへの理解を深めるとともに、アイドルへの衣装提供を実現する授業を継続して行った。

\*就職活動での即戦力化を目指し、SNSマーケティングを強化した。

\*2024年度入学者からパリ研修旅行は希望者制に移行、これにともないパリへ行かない学生にも国内イベントを計画し、学生満足度を高める計画に着手した。

\*選択科目のあり方を再検討する。1年次後期からの開始や、2年次の拡大を検討し、カリキュラム構成の見直しを行った。

## 2. 企画部

### 1) 基本計画

募集対象者のニーズを把握し、それに応える一貫性のあるメッセージを、ICTを活用して発信する。

### 2) 具体的内容

#### (1) ファッション専門課程

① 高校生のニーズに応えるカリキュラムの説明（HP及びフライヤーで周知徹底）

\*将来、衣装製作の仕事がしたいという高校生増加傾向。

→『アイドルプロデュース衣装製作』

本校はアイドルグループと連携し、授業の中でステージ衣装の製作が可能。

\*将来、自分でブランドを立ち上げて起業したいという高校生増加傾向

→『ブランドクリエイション』 ブランドの立ち上げ

『SNSマーケティング』 プロモーション

『eコマース』 ネット販売

本校はアパレルブランドで注目されているD2Cビジネス全般の知識を授業の中で学べる。

② 『桜丘が選ばれる3つのポイント』を一貫して高校生に周知徹底

\*学びやすい学費で、質の高い教育を提供する。

→リーズナブルな学費

\*授業から就職活動支援まで誰一人取り残さない

→少人数・担任制で、一人ひとりを大切にしたい親身な教育体制。

\*授業内完結型教育でプライベートも充実

→学修効率最大化を目指したタイムパフォーマンス抜群な教育体制。

③ ICT化推進による情報発信の強化

\*SNS強化（Instagram）

→質の高いフォロワーの獲得で認知度向上。

→インスタ運用コンサルタント契約再開。

\*MEO（Map Engine Optimization）対策の取り組み開始

→Googleで『服飾 専門学校』などと検索した際にMEOエリアに当校が表示される確率を上げる対策を実施。

\*リスティング広告の適時配信

→2025年度入学生募集について、2024年2月から広告配信開始。

\*コンテンツSEOの取り組み新規スタート

→検索ユーザーにとって有益な情報を提供する記事系のコンテンツを10本作成し、オーガニック検索の表示順位UPを目指した。

④ 高校生の利便性を第一優先にしたOC開催

→来校時間自由の『個別相談&見学会』+『体験実習』 73回/年を実施。

（2023年度は69回/年を実施）

#### (2) デジタル専門課程

① 日本語学校（特に前年度出願のあった実績校）との関係強化

→留学生募集担当の専任化。

② 指定校推薦制度

→選考料全額（20,000円）免除、入学金半額（50,000円）免除

③ 知人・友人紹介制度

→知人、友人を当校に紹介し、被紹介者が出願に至った場合、紹介者に紹介料を支払う。

(3) 定量目標

① 出願目標・実績 ファッション専門課程…50名・実績44名  
デジタル専門課程…36名・実績36名

② 事業予算

予算範囲内で実施

3. 学園本部

1) 基本計画

- (1) 教育活動収入のみで事業収支の黒字化体制整備
- (2) 飯田橋駅中央地区再開発における裁量スキームの検討

2) 具体的内容

- (1) 教育活動収入のみで事業収支の黒字化体制整備

\* 学生総数160名体制確立。

2025年度	1年	2年	3年	計
技術科			5	5
ファッションクリエイト科	25	25		50
ファッションビジネス科	25	16		41
国際情報ビジネス科	36	28		64
計	86	69	5	160

- (2) 飯田橋駅中央地区再開発における最良スキームの検討

現在の885㎡の床面積をキープする。

\* 1号館売却資金の一部を使用し、2号館建替え。(地下1階、地上6階建て)

\* 1号館売却資金の一部を使用し、再開発新オフィスビルに権利変換し、教室を確保。

\* 1号館売却資金の一部を使用し、再開発新オフィスビルに賃貸床の権利を取得し、賃料収入を得る。  
その賃料収入で新オフィスビル教室フロアの管理費を支払う。